

## 指導者の育成とスキルアップ

ガールスカウトの指導者は、定期的な講習会や研修会を通して、よりよい指導ができるように研鑽を重ねています。

養成したガールスカウトの指導者：1,797人  
開催した指導者研修会：269回

### 子どものための人権教育リーダー養成

性別に関係なく、互いを尊重し合える人間関係を推進し、一人ひとりが自らの可能性を最大限に発揮できる社会を実現するための担い手となる指導者を育成しています。自己学習とオンラインの混合学習で実施。ガールスカウト会員外も含めた111人の指導者が誕生しました。(累計1,406人)

※ガールガイド・ガールスカウト世界連盟と、UN Womenが協働開発したプログラムです。



### オンライン指導者研修 4回

- ・Free Being Me 大好きなわたし (9月、参加者107人)
- ・「アドボカシー活動を始めるためのガイドブック」理解 (10月、参加者213人)
- ・自分ごとで考えるジェンダー教育 (12月、参加者167人)
- ・「ワールドシンキングデイ2021活動パック」理解 (12月、参加者450人)



## インターネットを活用した情報の発信

地域の活動グループがSNSを活用し、活動を紹介しています。

ハッシュタグを使い、SDG5ジェンダー平等を目指した取り組み、日ごろの活動、野外活動、国際的な活動などの写真を集約し、社会に向けて発信することで、幅広い年代のガールスカウトと考える機会を作りました。

### 100周年特設ウェブサイト

100周年事業やガールスカウト応援団などのニュースを掲載。ガールスカウトならではの「100のコト」をInstagramで紹介しています。

- ・「キャンプ」1月～9月
- ・「ジェンダー平等実現100」10月～2022年3月まで実施される、さまざまなイベント・取り組みについて随時お知らせしています。



### 全国で一斉に「ありがとうの輪」

全国に緊急事態宣言が発令される中、5月22日の「ガールスカウトの日」を中心に、全国のガールスカウトが社会を支えてくれる方々へ感謝のメッセージを送りました。



### 厚生労働省「#広がれありがとうの輪」プロジェクト

厚生労働省が推進している「#広がれありがとうの輪」プロジェクトに賛同し、SNSを使って感謝の声を発信することを広く呼びかけました。



# Girl Scouts Activity Report



## ガールスカウト活動報告 2020.4 ▶ 2021.3

ガールスカウトは地域の人々と共に、よりよい社会にするためにチャレンジし続けています。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響によりさまざまな活動が制限されました。しかし、困難を機に新たな取り組みにもチャレンジした一年でもありました。オンラインを活用し、事業や指導者の育成に取り組み、幅広い年代と地域の会員の参加につなげることができました。

100周年を迎えた日本のガールスカウト運動の活動取り組みをご報告します。



国内47都道府県に3万人、  
世界152の国と地域に  
1千万人の仲間がいます。

公益社団法人  
ガールスカウト日本連盟

〒151-0066 東京都渋谷区西原1丁目40番3号  
TEL.03-3460-0701 FAX.03-3460-8383  
E-mail: gsj@girlscout.or.jp URL: www.girlscout.or.jp



Instagram 
 Facebook 
 LINE ID「@girlscoutsofjapan」 「ガールスカウト」で検索 
 Twitter 
 KIZUNA Line 防災・減災プロジェクト 
 メールマガジン 月2回(第2・4火曜日)の定期発行 
 ブログ 不定期(月2回ほど更新) 
 コミュニティアクションチャレンジ100アワード 
 YouTube 
 寄付 賛助会員申込み

わたしが変わる。未来が変わる。

ガールスカウトは少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。

2020年、日本のガールスカウト運動は100周年を迎えました。



公益社団法人ガールスカウト日本連盟

# SDG5「ジェンダー平等を実現しよう」

ガールスカウトはSDG5「ジェンダー平等の実現」を目指した活動を続けています。新しい生活様式の中で、少女と若い女性が能力を伸ばし、リーダーシップを発揮する機会をより多く提供し、社会を変える力をつけることができるよう、団、都道府県連盟、日本連盟が一丸となり取り組みました。



## 日本のガールスカウト運動100周年記念事業

### 国際ガールズメッセ プレイイベント 「わたしの声から広がる世界」

2020年10月10日(土)・11日(日)

ジェンダー平等の実現に向けて、多くの参加者と身近な問題について一緒に考えることができ、社会へ声を上げる第一歩となったことを実感できる2日間となりました。



秋篠宮佳子内親王殿下よりお言葉を賜りました。

#### プログラム

- ・100周年オンラインセレモニー
- ・100年の活動をふりかえり未来へつなげよう
- ・ガールスカウトカフェ
- ・#じぶん部 ジェンダーに関する女子高校生調査2020発表
- ・YouTuberシオリーヌの「発信し続ける力」
- ・#KuTooに見るジェンダーバイアス～私が声をあげるなら～

### 国際ガールズメッセ プレイイベント2 2021年3月7日(日)

- ・ワークショップ:声をあげるってどんなこと?
- ・指導者研修:私たちと今をつなぐ大人の学び～性教育編～



### コミュニティアクション チャレンジ100 アワード



少女と女性の視点に立ち、社会に良い変化をもたらす優れたプロジェクトを表彰しています。一般を含む60件の応募から、7グループを表彰しました。

#### グランプリ:

「楽しく遊ぼう・楽しく食べようプロジェクト」  
恵泉女学園奉仕委員会訪問係2019(東京都)

### 日本のガールスカウト運動 100年記念誌発行



100年の歴史と社会に貢献してきたガールスカウトの姿を紹介しています。



## 持続可能な開発目標 (SDGs) 実現への取り組み



### 大好きなわたし～Free Being Me

社会で作られたイメージに疑問を投げ、自分の外見を前向きにとらえて自己肯定感を高めるプログラムです。少女の可能性を最大限に伸ばすことを目指しています。

ユニリーバ・ジャパン高校生インターンシップにて、「大好きなわたし～Free Being Me」をオンラインで実施。(180人参加)

※ガールガイド・ガールスカウト世界連盟とDOVE(ダヴ)が協働開発したプログラムです。



### ガールスカウトカフェ

中高生がキャリアデザインや国際交流などについて、国内外のユース年代から話を聞くことで近い未来をイメージしていけるように実施。

- ・Vol.1(10月)
- ・Vol.2(2021年1月)
- ・Vol.3～インターナショナル編～(2021年2月)



### チャレンジ チェンジ ガールスカウト (文部科学省委託事業)

コロナ禍の中、子どもたちに体験活動を提供する事業を受託し、全国33都道府県で175事業を実施しました。



### STAY HOME ～おうちでチャレンジ

全国に緊急事態宣言が発令された中、家で長い時間過ごす子どもたちがその時間を有効に使い、自分にできることを増やすとともに、人に役立つ機会とするためのプログラムに取り組みました。



### 防災・減災への取り組み 「めざせ防災マイスター」

自然災害に備え、自分で自分の身を守ることができるよう、取り組んでいます。2021年3月には防災科学技術研究所と共催で「親子防災科学教室」をオンラインで開催しました。

2020年度は723人が防災プログラムに参加しました。



### 自分たちが住むまちの 防災と安全を考える

自分が住むまちを探検しながら防災、防犯、交通安全の視点でまちの課題を学ぶ、(一社)日本損害保険協会の「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」に取り組み、地域の一員として防災意識を高めました。

- 審査員特別賞:山口県第3団ブラウニー(3年生)
- デジタルチャレンジ賞:神奈川県第53団、佳作:4カ団



## 社会に変化をもたらすための活動

### Stop the Violence (STV) キャンペーン

#### ～みんなで作る 差別と暴力のない世界～

ジェンダーによる差別や暴力をなくし、人権を尊重するための教育プログラムの普及に取り組んでいます。高校生・ユース年代のガールスカウトが、女性の活躍を阻む社会問題について考えました。



### よりよい社会を目指し声を上げる

- ・わたしの声とみんなの声プログラム(参加者:中学生183人、高校生年代32人)
- ・ジェンダーに関する高校生調査アンケート実施(6月)(回答数:700人)
- ・ジェンダーに関する高校生調査アンケート発表(10月)
- ・オンラインイベント「女子大生の声からジェンダーを考えよう!」開催(6月)
- ・女子大学生×ジェンダー調査報告書2020発行(7月)
- ・高校生のonlineミーティング「our voices will change the world」開催(10月)(参加者:14県連盟より高校生年代22人)
- ・内閣府とともに、#ジェンダー平等を実現しよう 中学生・高校生のためのオンラインプログラム「me and them」制作・公開(2021年3月)
- ・ウーマンヘルスアクション(2021年3月)オンラインイベントで高校生二人が女性の健康と性に関する女子高校生アンケートについて報告
- ・第2回リーダーズフォーラム2021(オンライン)でユースチームが「女子大学生調査2020」発表(2021年3月)
- ・「ジェンダー」に関する女子高校生調査報告書2020～声をつなぐ～発行(2021年3月)



### STEM教育の機会

マイクロン財団と広島大学の協力により、「Girls Going Tech特別イベント わたし×生活×テクノロジー～わたしの将来に必要な知識を学ぼう～」を開催。ワークショップを通し、身近な課題をテクノロジーで解決する視点を学びました。

(2021年3月 参加者:中学生52人)



### 水汲みで途上国の少女と女性を支援する 「歩く国際協力・Walk in Her Shoes」

(公財)ケア・インターナショナル ジャパンが主催する歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2020」キャンペーン。全国から高校生のガールスカウト41人がジュニア・アンバサダーとして活躍しました。



### B-Pアワード

ガールスカウト活動を通して得た知識・技術を生かし、人に役立つ、高校生年代の優れたプロジェクトに対して授与する最高の賞です。

#### 受賞プロジェクト:

- 「多くの人にデートDVの存在を」愛知県第25団
- 「多様な社会を知る」兵庫県第90団



### 海外派遣

- グローバルラウンドテーブル2020(アメリカ連盟)
- 参加者:高校生2人(オンライン)

